



本郷台小 だより

7・8 月 号

横浜市立本郷台小学校
令和5年6月30日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

『あいさつ』がつなぐ安心・安全

副校長 岩田 幸子



中庭の花壇

新年度がスタートして3か月がすぎました。季節は春から夏へと移り変わり水泳学習も始まりました。中庭は花ボラの皆さんが夏の花壇に整備してくださり、カラフルな色やハーブの香りに心癒されています。朝、登校をしてくる子どもたちの会話には夏休みにやりたいことや行きたいところなどが聞かれるようになり、夏休みを心待ちにしている様子がうかがえます。



運営委員の5・6年生

学校での私の一日は、校門を開け子どもたちとあいさつをするところから始まります。「おはようございます。」と口々にあいさつをする子どもたちに元気をもらい、「今日もがんばろう!」という気持ちになります。朝のあいさつは『台小スマイル運営委員会』の児童が「あいさつ運動」として全校で盛り上げています。「あいさつ隊」の運営委員が昇降口から東門にかけての通路になり、大きな声で「おはようございます!」と呼びかけます。あいさつにあいさつで返し、学校中にあいさつを広げ、気持ちの良い学校にしようという子どもたちの自発的な活動です。

東門から登校してくる児童は長光寺の前の交差点や滝ノ分の交差点を通ってきます。ここは交通量が多く、子どもたちの登下校の時間でもひっきりなしに車が通る場所です。さらに滝ノ分交差点から宮ノ下へ続く細い道は抜け道として多くの車や歩行者が通ります。台小の子どもたちもこの道の歩道を通って登下校していますが、狭くて非常に通りにくい場所です。この辺りで旗を振って毎日安全を見守ってくださっているのが学援隊の久家明夫さん・小林正介さん・田中肇さん・鈴木幸一さんです。また、横浜銀行前の交差点も駅に向かう通勤通学の人や車の往来が非常に多く、とても注意が必要な場所です。ここには高野泰正さんが毎日立って、横断歩道を渡る児童の安全を見守ってくださっています。私も時々、学援隊の方とご一緒させていただき、交差点に立って登校指導をすることがあります。雨が激しく降る日や、暑い日差しが照り付ける日などは15分も立っていると大変疲れます。常に車の流れに気を付けながら、子どもたちの動きに目を配り、同時に2方向の信号の変化に対応するのは非常に神経を使うのです。学援隊の方は児童の登校前から立ち、登校してくる子どもが見えなくなるまで1時間近く立ってくださっています。学援隊の方々は「子どもたちは笑顔で元気が一番。交通事故で悲しい思いをだれにもさせたくない。こうやって毎日見守ることで、事故が起きないようにしているのです。」と、話しておられました。このお言葉を聞いてとても胸が熱くなりました。横断歩道を渡る子どもたちに「おはよう、いってらっしゃい!」とあたたかくかけてくださる学援隊の方の声に、子どもたちも自然に笑顔がこぼれます。学援隊の方々、台小の子どもたちだけでなく、そこを通るまちの人みんなの安全を守っています。いつも立ってくださっていることを当たり前と思うことなく、感謝の気持ちを込めて、大人も子どもも自分からあいさつをし、みんなで子どもたちの安心・安全をつないでいきたいものです。



久家 明夫さん



小林 正介さん



田中 肇さん



鈴木 幸一さん



高野 泰正さん